

刊夕8四廿月四

常磐毎日新聞

定額 一部全額 一月五拾五圓 郵費別
 廣告料 五圓以上 二日五圓 三日七圓 五日十圓 十日十五圓 一月三十圓 三月八十圓 半年六十圓 一年九十圓
 日曜 祭日の 翌日 休刊
 發行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞印刷局

平町を觀る (6)

山口彌一郎

其後縣に移管したりしたが常磐炭田と較べて地の利や炭質等の優れてゐる點もあるが大いに學び且つ考へさせられる點がある。今では海を埋め立て、尙ほ海中に進出し、埋立地を工場町にしてゐる。撫順は平均四〇米もある炭層の露天掘をやつてゐるが露西亞時代や其後の古い町は漸次採掘しなくてはならないので北の方に新しい都市計畫を立て、整然とした現在の撫順市街を建設した。

常磐炭田の炭坑は今殆んど常磐線附近まで進出して温泉町であつた湯本町は温泉を掘らして炭礦にしてしまひ、磐城炭礦の綴附近も一大發展を遂げた。これは確かに常磐炭田の發達には違ひないが一方行き詰りも近づいてゐる事を覺らねばならない。井戸の涸渇等も相當な範圍に及んでゐるが炭礦無き跡に残された農村に再び炭礦發生前の平和さが歸つて來るとは思はれない。現在常磐炭田には約二三〇〇〇人の坑夫が働いて七〇〇〇〇人の家族を擁して居ようその中平町と殊

に關係深い内郷村、磐崎村、湯本町、好間村、赤井村併せて九四、〇〇〇位の人があるが炭礦業關係で移動性に富む人々が多い。

出炭量は毎年變化するが約三、〇〇〇、〇〇〇噸近くで内三〇〇、〇〇〇噸位は當地で使用し他は鐵道省に納めたり、東京や關東の機業地帯、長野、甲府方面の製絲業地帯等に移出してゐる。石炭の性質上他の産物と違つて平町に集散するのではなくて直接炭坑より移出されるが、炭礦關係の町村を附近に持つから平町は多分に種々の方面に炭礦町の傾向を帯びてゐる。それを理解し、利用し併せて將來を考へることが重要である。

ノート

角力で手をたいて兩方に上げるのは指の間にも脇の下にも危険なものをかくして居ないことを示したものである。

八、集散される魚類

久ノ濱以南の俗に七濱と言つて石城の海岸には約二二〇〇人程の漁業に従事してゐる者があり、動力を有する船二〇〇、有しない船六八噸に過ぎない。

六四〇程に依つて約二、三〇〇、〇〇〇圓近くの水産額をあげてゐる。
 鯛、鰈、鮒、鰻、鮪、鯖、鰯等は約二〇哩以内の近海で獲り、鰯は春の中頃からそろ／＼獲れ初めるが最初は四〇哩以上の遠海に出ね

二明日の献立

- 【朝】すまし汁：小芋 さやえんどう
- 【書】カレー煮：鮮魚 切り肉 じゃが芋
- 【晚】酢びたし：ひらめ 薄作りつみわかめ

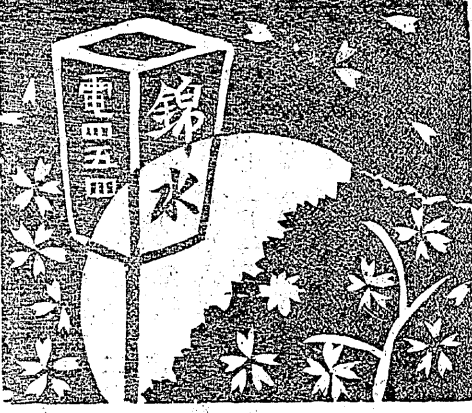
ばならず晩夏より初秋にかけて比較的沿岸に接近し二〇哩から三〇哩附近が主なる漁場となる。秋刀魚は三〇哩から四〇哩附近で九月上旬から十二月中旬にかけてとれる。之等が總て平町に集散するのではなく、又製品になるのは九〇〇、〇〇〇圓にのぼつてゐる。平町には主に自動車で早朝に運ばれて三〇哩程の魚屋と五〇〇人近くの行商人に分けられるが生魚の運ばれる距離には限りがあり、遠距離に發送されるものは直接漁港に近い停車場から平町より發送する鮮魚は年二六八噸に過ぎない。

MSカメラ景品附大特賣

花の春!!!

カメラのシーズン!!!

散歩に御旅行に
 春の行樂にはぜひMSカメラを
 MSカメラ第一回懸賞寫眞募集
 一、資格弊店より御買上のカメラで撮つた寫眞に限る事
 二、寫眞：櫻を背景とした人物及風景に限る
 三、大きさ：小型ベスト名刺版にて何枚出すも可 但し一人一賞の事
 賞品 一等銀カッブ以下十等迄
 〆切 四月三十日 發表 五月五日
 其他詳細は當店へ御問合せ願います
 カメラ特約店
 主催 平町前いづみやカメラ部



お花見折詰

御重入辨當

桜花の季節になりました

お花見には是非
 時節柄價格低廉
 奉仕的勉強
 平町一丁目

不保寅

電話一四一番

御重見の折詰!!!

特賣品を(一名)朗折詰で
 御一人前 五十五錢

- 魚 七品
 - すし 七品
 - 銘酒 二合ビン 一本
 - サカヅキ 一本
 - 花カンザシ お土産品 一本
- 立献詰折朗
 〇百個以上は特に御相談に應じます
 外に 魚 折詰 二十錢ヨリ
 すし 折詰 二十錢ヨリ

せ魚會堂

平二(電六三三番)

例年の通り魚清自慢の
 特製 みつ豆 八錢
 始めました
 *お花見のお歸りには是非お立寄を...
 意外な大賣れゆき厚く御禮申上げ候

平館

入場券
 一名二付 五錢安
 平町 土橋 マルマン商店
 電話四八九番

星野時計店

御入學、御進級、御卒業ノ
 プレゼントニハ是非御時計ヲ
 御用命ハ...驛前通りノ
 記念トシテ來ル廿六日迄粗景品付
 正札ノ一割引特賣御修繕ハ大勉強
 致シマス

月曜是非

紙芝居

平町の大道に紙芝居なるものがいつからとなく上り...

斯るものの存在を認識し之に關心する事がまたその責務の一つであらうと思ふ。

警中運動會に

タンブリング

警城中學校競技五年生有志は来る五月十日舉行される...

今井氏を迎え

警中野球

猛練習開始

警城中學校野球部にては本日平着午後六時十六分にて...

さのう高月臺に

縣下女子青年大會

會衆七百名の盛況

既報本縣聯合女子青年團第七回總會は昨日午前十時...

校外取締

平一校で決定

平第一小學校に於ける本年度校外取締訓練は左の如くである

- 長橋町 大館 研町 杉ノ澤 古銀冶町 新町 (松本菊 中村 樋口) 紺屋町 堂ノ前 攝樋小路 (大和田 水竹 大谷) 一

安部季雄氏來平

今明平町で講演

既報大日本雄辯會講演社主催婦人の爲の講演會講師として...

- 町目より五町目(根本 松本 武藤) 仲町 大町 南町(力丸 井上 黒木) 田町 南白銀(横田 古川 石山) 仲間町 鷹匠町 四軒町 柳町 九品寺 梅香町 北白銀(坂内 松崎 佐藤 玉手)

- 揚土 久保町 八幡小路 (鈴木 仲村三 松本) 胡摩澤 北白銀 杉平 舊城跡(吉成 坂内キ) 平塚 新川町 立町 彌宣町 大工町 月見町 鎌田 下川原(上川 丹野 瓜田 齊藤)

警中校長歓迎

警中同窓會及び職員一同は来る二十六日頃新校長小楢山久作氏の觀迎會を催す可く目下準備中であると

大和田氏當選

石城郡警崎村では豫てより缺員中であつた村長改選の村會を去る廿二日開會選舉の結果大和田隆介氏が當選した

草野納稅獎勵

兒童に學用品

石城郡草野村では昨年度より納稅思想普及を計る爲め村稅國稅の完納者に對し一枚三錢の獎勵券を發行し...

巡査採用試験

平で六月一日

本縣巡査の濱通り地方採用試験は六月一日平署會議室に於て行はれるが試験科目は算術作文讀書日本地理等で採用人員は縣下より三十

外科

門專 X 科線 光

上田外科病院

平町南町 電話一二九番

横濱植木會社の

春蒔の草花種子が

種子は輸出向きの優良質 植木會社の特撰品です

西村藥局種子部

(草花種子の蒔き方)差上ます 球根、塊根類の御注文も御受けします

謹告!

御最負皆々様の御勸めに依りまして、今度花の松ヶ岡公園記念碑前に賣店を出させていたゞきました。是非御立寄下さいませ様御待ち申上ます。

うなぎ奴

平町田町 電話二二番

高久病院

- 院長 醫學士 高久 忠 副院長 新潟醫學士 赤羽 清 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄 内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 平町田町 電話五一三番

母發狂

尋れる愛娘に會へず

平署で保護中

昨廿三日夜九時頃平町鍛冶町地内を大風呂敷を抱いた女の徘徊するのを平署員が怪み本署で取調ると同人は茨城縣取手町栗原ツル(四二)で昨年夫を失つてからは平町で藝者をして居ると云ふ獨り娘を尋ねて各地を放浪し本月十日平町に入り新田

廣野の決闘事件

けふ豫審終結

平支部で公判開延

双葉郡廣野村大字上淺見川字小松三十二番地農根本末吉(三)に對する決闘殺人及び傷害致死事件は過般來平支部に於て荒豫審判事係り取調中の處有罪と決定したので近日平支部中島裁判長係り公判開延される事になつたが事件の内容は去る三月十二日午後八時頃同村齊藤傳吉と些細の事から喧嘩となり同村堤附近に於て根本が松丸太を持ち齊藤及び應援者長男重勝の兩名は竹槍を持つて互ひに渡り合つたが齊藤は根本の爲に強か毆打され即死し長男重勝は之れ亦重傷を負ひ翌日午

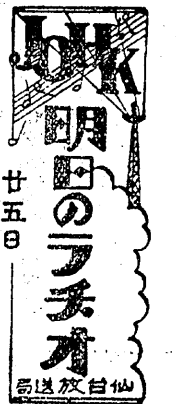
た縣自動車協會總會で縣下の優良運轉手として表彰された者のうち本郡関係者は左記八名である

特別農事傳習會

八年度プラン決定す

石城郡神谷農事試驗分場主催の八年度に設ける農事特別傳習會詳細は左の如く決定した

- △四月廿五日 春時蔬菜の栽培に就いて 矢ヶ崎技手 △五月九日 田植と本田の管理法 丁技師 △六月七日 藥劑調製と病害虫防除法 守野助手 △七月七日 秋播蔬菜栽培法 矢ヶ崎技手 菜種栽培と其利用法 瀨古技師 △八月六日 小麦の改善及び綠肥栽培法 高根技手 △九月四日 稻の收穫調整と産米改良 本橋技手 優良農具選擇と使用法 加藤技手 △十月四日 堆肥作方施用法 内山技師 △十一月二日 蔬菜軟化と速成法 矢ヶ崎技手 △十二月二日 温室栽培並に經營法 小島技手 △



明日のラジオ

今晩は北東の風雨 明日は北東の風曇り次第に快復いたします

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 童話劇「三つの博多人形」 黒田福岡兒童藝術協會
- 後八、〇〇 浪花節「花賣娘」天光軒満月
- 後八、三〇 俚謠

明日の部

- 前六、三〇 基礎ドイツ語
- 後九、〇〇 長唄「新曲お七吉三」唱芳村金五郎外
- 後九、三〇 時報 ニース氣象通報 番組豫告

中堅農民講習

廿九日に入會式 石城郡農會主催本年度中堅農民講習會員百餘名の入會式は来る廿五日午前十時より團體事務所樓上にて行はれると

町村長支會

石城町 村長支會では廿四日午前十時より平町役場會議室に於いて評議員會を開き來月二日開催される支會總會議案に就いて協議した

小學校教員

濱通り 小學校教員檢定試験に於ける本縣小學校教員檢定試験は本日午前九時より平第一小學校に於て施行されたが志願者は百五十名にて其志望別は左の如くである

平産婆總會

廿五日に開く 平署管内産婆會總會は廿五日午前九時より同署會議室に開會來月五日の乳幼児愛護デー催物及び七日福島市に開かれる縣大會への提出議案等を協議すると

玉川青年總會

石城郡玉川村青年總會は來る卅日午前九時より同村小學校に開會本年度豫算を附議終つて團員の武道大會を校

講座 橋本忠夫 前九、一〇 料理献立「りたんぼ」萩野トキ發表 前一〇、三〇 家庭講座「傳染病の感染及び豫防に就て」醫學博士平松鶴吉

後〇、〇五 落語「毛氈」芝居柳亭魚樂 後二、〇〇 家庭大學講座「支那事情」參謀本部支那班長陸軍輜重兵中佐柴山兼四郎 後二、三〇 運動競技「東

津田氏講演

磐城中 學校にては本日午前十時より元旅順師範學校校長津田元徳氏の滿洲國の現狀に就いてと題する講演會を催した

磐女生遠足

磐城高等女學校にては明日各係教諭引卒の下に全校生が關伽井嶽に遠足運動會を行ふと

裁判所たより

△石城郡上小川村大字上小川字川上四十一番地雜貨商鈴木信義(五)は昨年十一月上旬より十二月下旬迄の間自宅に於て垂糸の切斷せる皿付二貫匁秤を勝手に修理使用し度量衡違反として罰金二十圓に本日平區裁判所に於て略式命令を以て處分された

京大學野球聯盟リーグ戦 試合狀況「明治神宮外苑 球場より中繼」 後六、〇〇 子供の時間 お話「津浪に遭つたお話」と皆様へのお禮のことば「宮城縣桃生郡雄勝小學校訓導

平職業紹介報告所

- 回人を求める方
 - △印刷見習 十六才 尋卒 仕着小遣(平町某)
 - △染物徒弟 十六才 尋卒 仕着小遣(平町某)
 - △金具職見習 十六才 尋卒 仕着小遣(平町某)
 - △鐵工見習 十六才 尋卒 仕着小遣(郡山市某)
- 回職を求める方
 - △鐵工見習 十六才 高卒 給料面談(内郷村某)
 - △事務員 二十一才 中卒 給料面談(平窪村某)
 - △雜夫 六十三才 尋二修 給料面談(平町某)
 - △旅館番頭 二十七才 高卒 給料面談(信夫郡某)
 - △自動車助手 十五才 高卒 給料面談(平町某)

幕末剣士

【禁輦上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演
近藤 紫雲 畫

第三百二十一號 佐々木見山

遂に兎をぬぐ

佐々木見山は菊地大六に

就て劍術を學ぶことにした

が素より大六より二三段上

にゐるその人が下の者の弟

子となつて學ぶ、こんな奇

怪なことではないこれは菊地

の高慢な鼻をへし折るため

大六も門人の手前もあり辭

することもならずそこで道

場へは出たが特別念入り

道具をつけた、佐々木も支

度して

佐「先生お手やはらかに御

指南下さるやう」

大「承知いたしましたどうぞ静

に稽古して下さい強く打を

入れぬやうにお軽く頂戴い

たす」

佐「先生あなたの得意は兩

刀、わたくしはあなたの門

下となつた以上は是亦兩刀

を遣ひます」

と云つたが二口の竹刀を

取り

佐「御指南下さい」

ヤツと氣合をかけた大六

は左の腕がまだ自由になら

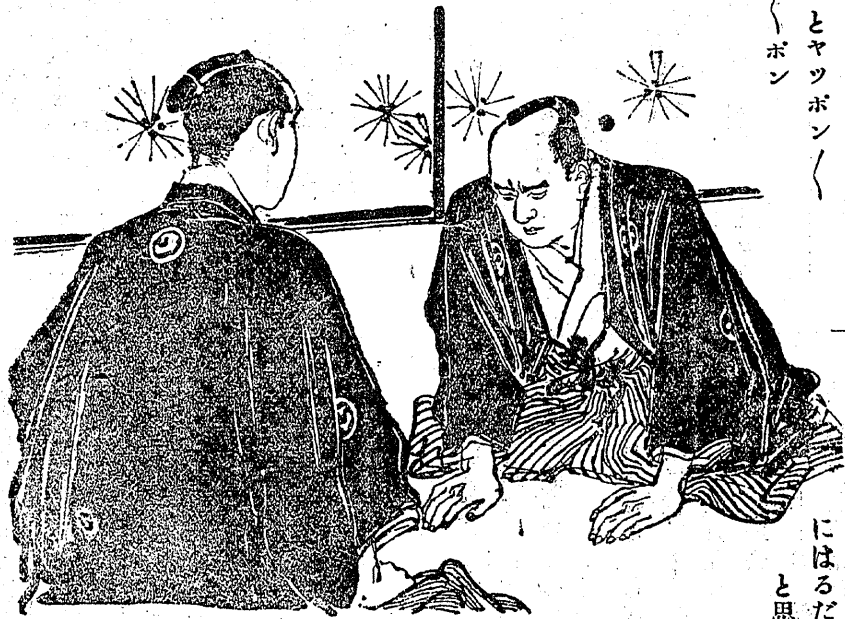
ぬからアラリと竹刀を下

右に持つた竹刀を下段につ

けた、それを見て佐々木が

佐「アハハハ先達の試合」

俺が大六の腕に勝つた印を



とヤツボン／＼

／＼と

／＼と

／＼と

／＼と

／＼と

／＼と

／＼と

／＼と

／＼と

／＼と

／＼と

／＼と

／＼と

／＼と

／＼と

／＼と

／＼と

／＼と

／＼と

／＼と

／＼と

／＼と

／＼と

／＼と

／＼と

は夢中だから氣が付かなん

だ試合果て、後に心付いた

ものであらうまた腕が利か

ぬか／＼し痛い腕を打つて

やらう」

この腕が折れ

にはるだらう

と思つた

と云つたが馬鹿が小火を

見てゐるやうに、物になる

／＼といふ、なんぞ知らん

佐々木は疾く物になつて

ゐる、見山は毎日のやうに

來ては先生お稽古を願ひま

すと道場に大六を引出して

居るには恥入りしました以

來は先生の御門下となつて修

行いたします」

大六はとう／＼佐々木に

降伏いたしました見山これを聞

いてニコリ笑ひ

佐「過つては改むるには

かること勿れ神でなき者は

過ちもござる貴公は一体傲

慢である、技は出来て居る

が心の修養が缺けて居る、

しかし殿様御前にての試合

に拙者が勝利を得れば貴公

の地位に動搖を來たす、そ

れで勝をお譲り申した、そ

れは貴公は當家の譜代であ

例の如く佐々木が見えた時

その痛いと大六はとび上

つた、佐々木は後へ退つて

佐「これは失禮致しました

軽く打ちを入れたつもりで

ございましてが機みがつき

まして強くまゐつたやうで

ございます」

と打合つた左

の小手をビシ／＼と打つた

好機會と見山を居間に招き

大「さて佐々木先生あなた

のお腕前には實以て驚きま

した先達殿様御前にての試

合の節拙者は勝を急ぎした

めに精神も亂れ貴公が打を

入れたを少しも心付かぬ試

合終つて歸宅いたしました

後に初めて打たれて居るに

氣付きまして、さすればあ

の試合は手前が負けでござ

る、それを先生は勝を主張

致さず得物を投げて手前に

勝利をお譲り下されたは花

も實もあるなされ方實にそ

のお心のうつくしさに敬服

致しました又同時に手前の

未熟なること、心のけがれ

居るには恥入りしました以

來は先生の御門下となつて修

行いたします」

大六はとう／＼佐々木に

降伏いたしました見山これを聞

いてニコリ笑ひ

佐「過つては改むるには

かること勿れ神でなき者は

過ちもござる貴公は一体傲

慢である、技は出来て居る

が心の修養が缺けて居る、

しかし殿様御前にての試合

に拙者が勝利を得れば貴公

の地位に動搖を來たす、そ

れで勝をお譲り申した、そ

れは貴公は當家の譜代であ

る先祖の勳功を思ふて勝

べき試合もまけて置いた、し

かしこの上ともに高慢が

のると人望を失ひはては當

家を退身いたすやうにもな

るであらう、それも亦お氣

の毒と存じ左の腕に傲慢を

押へる妙薬に紫色のあらは

れる程度に打ち入れて置い

た爾來は高まんな鼻を削

が宜しからう、處世の術は

退一步と申し一升入るべき

器には八合入れておかばあ

ぶれる憂ひない、十人の力

あるものが八人の力を出し

て居らば過ちもない、この

やうな事を申さずとも疾く
御存知の事とは思ふが私慾
の良心がくらむと加ふるみ
やすきこともわからぬこと
になる先づ／＼以來は謙遜
して一生を安樂にすごされ
るやう」

三井タクシ

目丁二町平

番五八六話電

内科・小兒科・花柳病科
藤沼醫院
入院需應
平町紺屋町
電話五〇七番

外科
醫學博士 渡部 義夫
小兒科
女 醫 渡部 さい子
平町田町大通り(電話二七七番)
入院應需 **渡部 外科**

鹽豚
肉蒲鉾
田町 三三三屋

御贈答に
記念品に
諸景品に
!!!!!!!
漆器を!!!
誠實勉強
親切第一
在庫豊富
共は

是非御用命を
ドコヨリモ、ヨイシナラ、ドコヨリモ、ヤスクウ
ル、ヌリモノミセ
平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)
各國産漆器
専門卸小賣 **(共) 漆器店**
店員募集 十三才位 小 店員
三十才迄位 外 交員

吉田眼科病院
平町紺屋町、電話六八番